

《実践目標及び報告》

1) 地域との共生

※社会貢献

令和2年度はコロナ禍のため行事等の実施は出来ないことも多かったのですが、地域清掃においては過密にならないよう心掛け、今まで通りさせていただくことが出来ました。地域支援のリフレッシュ事業は緊急事態宣言が解除されて後は出来る限り受けさせていただきました。

2) 人権の尊重

※子ども支援

新園舎の完成に伴い、元年度末に入所した児童も多く、新しい場所での小規模単位での生活が始まり、家庭体験を少しではありますが体験させてあげることが出来たように思います。また、令和2年度の子ども対象研修は主に性（生）教育に取り組み、子どもの特性・特徴を理解しつつ実施することが出来ました。特に子ども達への研修のみならず、その研修の後さきに打ち合わせという名目で実施していただいた研修は大変意義があったと思います。その行動のみに焦点を合わせるのではなく、その根底にあるものに気づくことも学びました。

3) 人材育成

※職員の資質向上を目指す

ケースカンファレンスで討議される事例検討では多くの職員の意見が反映されるようになってきました。ナビシステムでの情報共有も定着し、他コーナーで起こっている出来事に意識を持ち、お互いにフォローしあえる風土も出てきました。職員間のコミュニケーションを強化して職員の資質向上を目指したいと思います。

4) サービスの質の向上

※「ようこそ」「さきに」「ありがとう」の実践

「ようこそ」 → 学園に来られた方すべてに“ようこそ”の思いを持って接する

「さきに」 → 日常のあいさつは自分から“さきに”行う

「ありがとう」 → どんなことから学びがあることを知り、“ありがとう”の思いを持つ

どんな現象も受け入れる心の実践、先に挨拶することの実践、物事の見方を変えてみることで、小さなことでも感謝の思いを持つことの意識付けを今後も言い続けたいと思います。

5) 本体施設完成による定員変更

※45名→44名

令和2年度 目標及び報告

同朋学園

基本方針	項目	目標 (P)	実践 (D)	気づき・反省・満足度 (C)	次への期待 (A)
地域との共生	社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃の実践</li> <li>・地域活動への参加</li> <li>・地域支援</li> </ul>	<p>《地域清掃》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、児童と職員での地域清掃</li> <li>・年11回、職員のみでの地域清掃</li> <li>・年11回、全教一斉のきしん(中止)</li> <li>・年2回地域自治会による清掃活動への参加(中止)</li> </ul> <p>《地域活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五毛天神子ども神輿小学生(中止)</li> <li>・みのおかまつり手伝い(中止)</li> <li>・児童館夏祭り手伝い(中止)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ホームにおいて食事を準備する時に子どものお手伝いが増えた。</li> <li>・ほとんどの行事が未実施に終わり、残念であった。</li> <li>・子ども対象の研修会(性教育の実施)を少人数で実施。(6/27・7/12・9/26・9/27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ禍の関係で実施することが出来なかったが、出来ることを実践していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のお役に立つこと、嬉しいう人となること。</li> <li>・社会の一員であることの意識付け。</li> </ul>
人権の尊重	子ども支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームやユニットでの生活で家庭体験を増やす</li> <li>・子どもが主体的に運営する行事(運動会など)</li> <li>・子ども対象の研修会(サイバー講習・性(生)教育)</li> <li>・学習支援(学習ボランティア、図書コーナーの充実)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利擁護チェックリストによる自己点検(5月・2月)</li> <li>・園内研修(6/23、講師：春海淳子氏)</li> <li>・(4/28、5/29、6/16、7/7、9/14、11/17、2/15講師：足立泰代氏)</li> <li>・ゲースカンファレンス(4月・8月以外、毎月1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童対象の研修を今後取り入れていくことで共通理解を深めることに通じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性教育は「生」にもつながら、色々な事情を抱えた子ども達にとっても重要な機会であると実感した。</li> </ul>
職員の進歩向上を目指す	社会的職員の資質向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利擁護チェックリスト(全養協)による自己点検</li> <li>・ゲースカンファレンス(年11回)</li> <li>・講習会、研修会の実施(障がい児研修・性(生)教育等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年性は性(生)教育を中心に職員研修を進めたが、併せて子どもへの研修も実践でき良かったので次年度も引き続き行ってきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども理解は大人理解にも通じる。</li> <li>・職員の相互理解。</li> </ul>	
人材育成	「ようこそ」「ありがとう」の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ようこそ」</li> <li>→学園に来られた方すべてに「ようこそ」の思いを持って接する</li> <li>・「さきに」</li> <li>→日常のあいさつは自分から「さきに」行う</li> <li>・「ありがとう」</li> <li>→どんなことからも学びがあることを知り、「ありがとう」の思いを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れる心の実践。</li> <li>・先に挨拶することの実践。</li> <li>・物事の見方を変えてみることを意識付け。</li> <li>・小さなことでも感謝の思いを持つことの意識付け。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の価値観で物事を見えてしまうこともあり、人の良いところを見つけれられる意識を持つことが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手とのチャットメール合え合わせが出来て、認め合える雰囲気づくり。</li> </ul>

サービスの質の向上	建替え事業計画	<p>・ 本体施設完成による定員変更 45名→44名</p>	<p>・ 本体施設の完成に伴い、2つのグループホームを残し、本体施設4ユニットでの生活実施。</p>	<p>・ 新型コロナウイルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>	<p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>
<p>・ 新型コロナウィルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>	<p>・ 新型コロナウィルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>	<p>・ 新型コロナウィルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>	<p>・ 新型コロナウィルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>	<p>・ 新型コロナウィルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>	<p>・ 新型コロナウィルス感染拡大のため、子どもも強化を願制を整えていく。</p> <p>・ 各ホームとの協力体制強化を図り、次年度の体制を整えていく。</p>

令和2年度 実践報告

同朋学園

	目標 (P)	実践 (D)	子どもの声	気づき・反省・満足度・次への期待 (C/A)
北町ホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームでのルールを守る</li> <li>子どもとの関係性を築く</li> <li>自分の行動、言葉に責任を持つ</li> <li>自分で出来ることは自分でする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールの変更等がある場合は職員だけで決めるのではなく、コーナ一会議を設け、子どもたちの意見を取り入れながらも自由奔放にならないうよう、子どもと職員と歩み寄りながらルールを決めた。</li> <li>ともに決めたルールを守れるよう声かけをしていき、ルールを守り、子どもたちが守られる環境づくりをしていった。</li> <li>「帰ってくるところ」へ時間内に行き、帰ることが出来る基本的な生活習慣が身につくように努めた。</li> <li>自粛期間中であつたが身体を動かしたいという子どもたちの要望があり、外遊びを実施できた。</li> <li>自分の気持ちを素直に言葉で伝えられるよう職員は対話の中でその児童が理解しやすい声かけを心掛け、自己選択を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日もテレレビゲームがしたい。</li> <li>自粛期間だけ外遊びがしたい。(バスケットコート・本体施設屋上・公園など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気付き・反省・満足度・次への期待 (C/A)</li> <li>子どもは室内にこもるよりも身体を動かして遊ぶことで発散が出来ると思うのでできる限りかなえてやりたい。</li> <li>ルール決めについては子ども自身が納得できたことであれば、守ることは出来ていた。</li> </ul>
中町ホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しやすい関係性を築き、自己選択出来るよう導く</li> <li>子ども同士が互いに尊重しあい、共にわかりあえるよう意見を出し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の積極的な挨拶をし、良い挨拶が出来る時に褒めた。</li> <li>職員と個別に話す機会を設け、自分と向き合い、課題や将来について話すことが出来るよう環境づくりを行った。</li> <li>子どもから意見があつた際は否定せず、受容的に話を聞き、子どもが話をしやすいよう意識して関わった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話をしつかり聞いてくれるので決めたつけさせず自分の問題を解決できた。</li> <li>問題行動がない生活をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども選が出来たことを少しでも増やし、自信に繋げていくよう職員が援助していききたい。</li> <li>大學生、高校生、中学生との共同生活なので、これまでの流れを見直し、自立に向けた援助をしていきたい。</li> <li>新中一生成が4人いたこともあり、ルールを決めて学習時間などを設けることが出来た。</li> </ul>
みっほホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもも大人も挨拶をしてコミュニケーション力が高める</li> <li>自分の気持ちを言葉で表現する</li> <li>人の話をきちんと聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が積極的に挨拶をし、良い挨拶が出来る時に褒めた。</li> <li>職員と個別に話す機会を設け、自分と向き合い、課題や将来について話すことが出来るよう環境づくりを行った。</li> <li>子どもから意見があつた際は否定せず、受容的に話を聞き、子どもが話をしやすいよう意識して関わった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話すのは面倒だけれど大切に感じる。</li> <li>職員と個別に関わる機会が欲しい。</li> <li>以前より問題行動が減りスリルはなくなつた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どももから関わりを求めてきたときは子どもが納得いくまで対応したり、時間を設けて気持ちを落ち着かせるように心掛けたことと子どもも少し落ち着いてきたように思う。</li> <li>外出時や食事など挨拶が必要な伝達をしつかり行えるようになった。</li> <li>自立を目前に控えている子に対し、具体的な進路の話を共有したり、気持ちの聴き取りを丁寧に行い、不安を少しでも軽減できるように関係性づくりに努めたい。</li> <li>安心して過ごせる居心地の良い環境づくりを心がける。</li> </ul>
さくらホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活のリズムを整える</li> <li>あいさつをお互いに行えるようになる</li> <li>感謝を言葉にする</li> <li>気持ちを言葉で表現し、そして人の話を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>起床や食事マナー等、基本的な生活習慣が身につくよう声掛けをした。</li> <li>職員が率先して挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えたりした。</li> <li>子どもたちの変化に気づき、話しやすい環境を作つて話した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の用意を手伝つてくれた。</li> <li>年下他児の面倒を見てくれた。</li> <li>「職員や他児とお出かけしたい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の話をしつかり聞き個々の関わりを大切にしたい。</li> <li>社会に出ていくためのお金の使い方、挨拶や言葉遣いなども伝えていきたい。</li> <li>生活習慣がしつかりとつき、毎日全員が時間内に起床し、揃つてご飯を食べることができた。</li> <li>子どもが前向きな行動ができるように優しくわかりやすく丁寧な声掛けをしていきたい。</li> <li>職員と子ども達だけでなく、一緒に食事をする事で子ども同士の話も増えた。</li> </ul>

つくしコーナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気を感じ、信頼関係を深める</li> <li>・子どもたちの思いを受け、信頼関係を深める</li> <li>・生活リズムを身につける</li> <li>・友だちと一緒によい遊びをすることを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップをとり、子ども達が安心して遊ぶ環境を作るようにした。</li> <li>・日々の目標を定着させ、良い生活習慣が身につくように声掛けした。</li> <li>・職員も一緒に楽しむ、遊びを通して友だちの大切さを伝えるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甘えてきたり、試し行動など出し方は様々であるが、ストレーンに表現してくれることが多くなった。</li> <li>・お手伝いをしてくれたい。</li> <li>・楽しい遊びをもっとしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちとの時間をたくさんとり、個々の関わりも大切にしていきたい。</li> <li>・毎日の挨拶やお礼などが自然に言えるようになつた。</li> <li>・仲良くしようという行動や声掛けが子ども達の中で行われている場面が多かった。</li> </ul>
食堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが「食」に関心を持てるよう情報伝える</li> <li>・自立後の食生活に役立つ情報を伝える</li> <li>・ホームでの調理時の衛生指導を徹底する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが食に興味を持てるよう、お菓子作りを行った。</li> <li>・朝食で手作りのメニューを増やすことが出来た(手作りピザなど)。</li> <li>・季節ごとに行事食を提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちから「このメニューが美味しかった」との声が聴けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものリクエストを献立に入れていきたい。</li> <li>・自立のための調理指導を行っていきたい。</li> <li>・自立後の食生活に役立つ情報を伝えていきたい。</li> </ul>
事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい挨拶と笑顔</li> <li>・TP0をわかまえる</li> <li>・役割分担と情報の共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤時に明るい挨拶を心がけた。</li> <li>・アイリス(ナビシステム)の活用で情報の共有を図った。</li> <li>・来られた方への配慮を心掛けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員との関係に戸惑っている声も聴かれたが調整役をして改善していった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイリス(ナビシステム)をしっかりと見ておくことは子どもや職員への対応に役立った。</li> </ul>